

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 50 問で解答時間は正味 1 時間 30 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には a から e までの五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを(例 1)では一つ、(例 2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

(例 1) 101 県庁所在地は
どれか。

- a. 栃木市
- b. 川崎市
- c. 神戸市
- d. 倉敷市
- e. 別府市

(例 2) 102 県庁所在地はどれか。
2 つ選べ。

- a. 宇都宮市
- b. 川崎市
- c. 神戸市
- d. 倉敷市
- e. 別府市

(例 1) の正解は「c」であるから答案用紙の

101 a b c d e のうち c をマークして

101 a b d e とすればよい。

(例 2) の正解は「a」と「c」であるから答案用紙の


102 a b c d e のうち a と c をマークして

102 b d e とすればよい。

- (2) 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… (解答したことにならない。)

- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

- (4) ア. (例 1) の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。

イ. (例 2) の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。

- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問題 1 大型弱視鏡を用いる網膜対応異常の矯正訓練はどれか。

- a. 振動法
- b. 追跡法
- c. 側方移動
- d. Pemberton 法
- e. Moore-Johnson 法

問題 2 身体障害者手帳の視覚障害等級認定で誤っているのはどれか。

- a. 1 等級から 6 等級までである。
- b. 視力は両眼の和で評価する。
- c. 手動弁は視力値を 0.01 と換算する。
- d. 両眼視が困難な複視では非優位眼視力は 0 とする。
- e. 両眼とも視野が 10° 以内の求心性狭窄の場合は損失率を求める。

問題 3 斜視手術の合併症はどれか。2 つ選べ。

- a. 術後複視
- b. 網膜対応異常
- c. 強膜穿孔
- d. 拒絶反応
- e. 健眼の弱視化

問題 4 上斜筋減弱術が適応となるのはどれか。2 つ選べ。

- a. Brown 症候群
- b. Duane 症候群
- c. double elevator palsy
- d. 下斜筋麻痺
- e. 交代性上斜位

問題 5 手術法と疾患の組合せで正しいのはどれか。

- a. Anderson 法 ————— 外転神経麻痺
- b. Jensen 法 ————— 調節性内斜視
- c. Kestenbaum 法 ————— 交代性上斜位
- d. 後部縫着法 ————— 甲状腺眼症
- e. 原田-伊藤法 ————— 上斜筋麻痺

問題 6 眼筋手術が適応となるのはどれか。

- a. 温度眼振
- b. 眼位性眼振
- c. 終末位眼振
- d. 潜伏眼振
- e. 頭位変換眼振

問題 7 Brown 症候群と下斜筋麻痺の鑑別に有用なのはどれか。

- a. 瞳孔検査
- b. 複像検査
- c. 眼球牽引試験
- d. Hess 赤緑試験
- e. 大型弱視鏡検査

問題 8 眼鏡とコンタクトレンズとの比較で正しいのはどれか。

- a. 屈折性近視の不同視では左右眼の像の大きさの差は眼鏡の方が大きい。
- b. 軸性近視の不同視では左右眼の像の大きさの差は眼鏡の方が大きい。
- c. 近視眼では調節は眼鏡の方が多く必要である。
- d. 遠視眼では調節は眼鏡の方が少なくすむ。
- e. 近視眼では輻湊は眼鏡の方が多く必要である。

問題 9 膜プリズムが適応とならないのはどれか。

- a. 回旋斜視
- b. 共同性内斜視
- c. 甲状腺眼症
- d. 交代性上斜位
- e. 麻痺性斜視

問題10 二重焦点眼鏡が適応となるのはどれか。2つ選べ。

- a. 屈折性調節性内斜視
- b. 非屈折性調節性内斜視
- c. 部分調節性内斜視
- d. 非調節性輻湊過多
- e. 後天(基礎型)内斜視

問題11 弱視眼のみ+3.0 D 負荷する治療法はどれか。

- a. アトロピン遮閉
- b. Moore-Johnson 法
- c. 全ペナリゼーション
- d. 近見ペナリゼーション
- e. 遠見ペナリゼーション

問題12 視能訓練が適応とならないのはどれか。2つ選べ。

- a. 近 視
- b. 複 視
- c. 共同偏視
- d. 偏心固視
- e. 麻痺性斜視

問題13 大型弱視鏡による訓練で正しいのはどれか。

- a. 複視感知訓練は 0° でセットする。
- b. Pemberton 法は異常角にセットする。
- c. 交差法は自覚的斜視角にセットする。
- d. 出し入れ訓練は他覚的斜視角にセットする。
- e. 動的両眼網膜刺激法は自覚的斜視角にセットする。

問題14 正しいのはどれか。

- a. プリズムを使って融像幅の訓練を行う。
- b. Hirschberg 法はプリズムを用いて行う。
- c. 膜プリズムは眼鏡レンズの外側に貼って使う。
- d. 4プリズム基底外方テストは網膜対応の検査である。
- e. 斜視角が大きいときは、プリズムを2枚重ねて測定する。

問題15 家庭での視能訓練に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a. オイチスコープ
- b. オフサルモメータ
- c. カイロスコープ
- d. バーリーダー
- e. ムネモスコープ

問題16 赤フィルターを用いない視能訓練はどれか。2つ選べ。

- a. 視力増強
- b. 単眼固視
- c. 複視感知
- d. 残像認知
- e. 側方移動

問題17 抑制野が狭いときに用いる訓練法はどれか。2つ選べ。

- a. 交差法
- b. 追跡法
- c. 出し入れ法
- d. 黄斑部マッサージ法
- e. 動的両眼網膜刺激法

問題18 弱視で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 微小斜視弱視は立体視が良好である。
- b. 斜視弱視は調節性内斜視に合併しやすい。
- c. 不同視弱視は遠視の強い眼に起こる。
- d. 形態覚遮断弱視は弱視治療の効果が低い。
- e. 屈折異常弱視では VEP に異常がみられやすい。

問題19 眼球牽引試験が陽性になるのはどれか。2つ選べ。

- a. 乳児内斜視
- b. 固定内斜視
- c. 動眼神経麻痺
- d. 外転神経麻痺
- e. 眼窩吹き抜け骨折

問題20 重症筋無力症でみられないのはどれか。

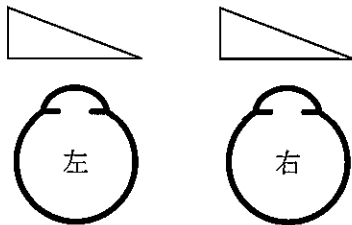
- a. 異常神経支配
- b. 横紋筋筋力低下
- c. 眼球牽引試験陰性
- d. 神経筋接合部障害
- e. 外眼筋筋電図の漸減現象

問題21 小児の心因性視覚障害の治療に適切でないのはどれか。

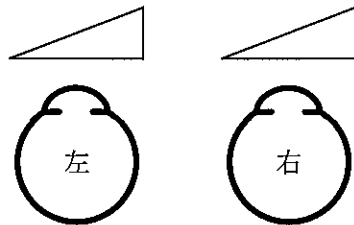
- a. 絵画療法
- b. 行動療法
- c. 遊戯療法
- d. だっこ点眼法
- e. 抗てんかん薬

問題22 静止位が右方にある先天眼振に適切なプリズム処方はどれか。

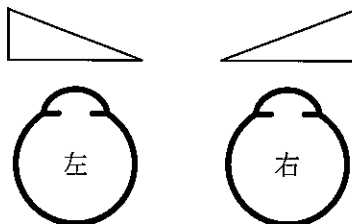
a.



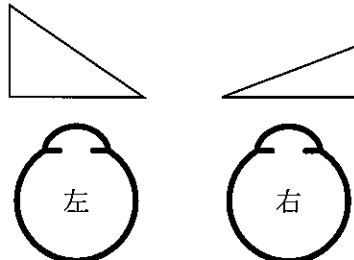
b.



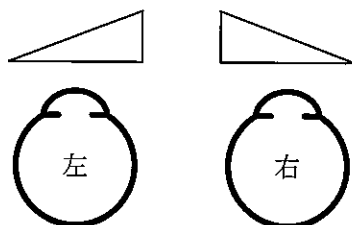
c.



d.



e.



問題23 眼振阻止症候群で正しいのはどれか。

- a. 振子眼振である。
- b. 内斜視が発症する。
- c. 眼振の振幅は外転位で最小となる。
- d. 固視眼と反対方向への顔の回転がある。
- e. 遮閉試験をすると顔の回転は消失する。

問題24 外転神経麻痺で見られるのはどれか。2つ選べ。

- a. 内斜視
- b. 外転障害
- c. 眼球後退
- d. 瞼裂狭小
- e. 輻湊障害

問題25 外転神経麻痺で正しいのはどれか。

- a. 自然治癒はまれである。
- b. 交差性複視をきたす。
- c. 麻痺眼の方へ顔を回す。
- d. 近見時の眼位ずれは遠見時の眼位ずれより大きい。
- e. 内転時の瞼裂狭小を伴うものを Möbius 症候群という。

問題26 顎上げが見られるのはどれか。

- a. A 型内斜視
- b. 基礎型外斜視
- c. Duane 症候群
- d. 上斜筋麻痺
- e. 交代性上斜位

問題27 40歳の女性。外斜視の術後、同側性複視を自覚している。 -3.0D の近視がある。

考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a. 調節の異常
- b. 輻湊の異常
- c. 手術の過矯正
- d. 眼鏡の低矯正
- e. 網膜対応の異常

問題28 視野検査の最中に突然、患者の反応がなくなった。声をかけても返事がない。部屋を明るくしてみると、床に倒れていた。肩をたたいて呼びかけても返事がない。

まず行うのはどれか。

- a. 応援を呼ぶ。
- b. 体温を測定する。
- c. 血圧を測定する。
- d. 人工呼吸をする。
- e. 心臓マッサージをする。

問題29 散瞳薬を点眼するよう医師の指示を受け、同姓同名の別の患者に点眼してしまった。

対応としてまず行うのはどれか。

- a. 洗眼する。
- b. 医師に報告する。
- c. 眼圧検査をする。
- d. 視力検査をする。
- e. 縮瞳薬を点眼する。

問題30 流行性角結膜炎の感染対策で最も大切なのはどれか。

- a. 安 静
- b. 入 浴
- c. うがい
- d. 手洗い
- e. 栄養摂取

問題31 35歳の女性。晴天の日、洞窟に入ったところ、しばらくしても真っ暗で身動きができず、友人に異常を指摘された。視力は右 1.5(矯正不能)、左 1.5(矯正不能)。眼圧は右 12 mmHg、左 12 mmHg。右眼の眼底写真(別冊No. 1)を別に示す。左眼も同様の眼底所見である。

診断に有用でないのはどれか。

- a. 瞳孔検査
- b. 視野検査
- c. 色覚検査
- d. 網膜電図
- e. 暗順応検査

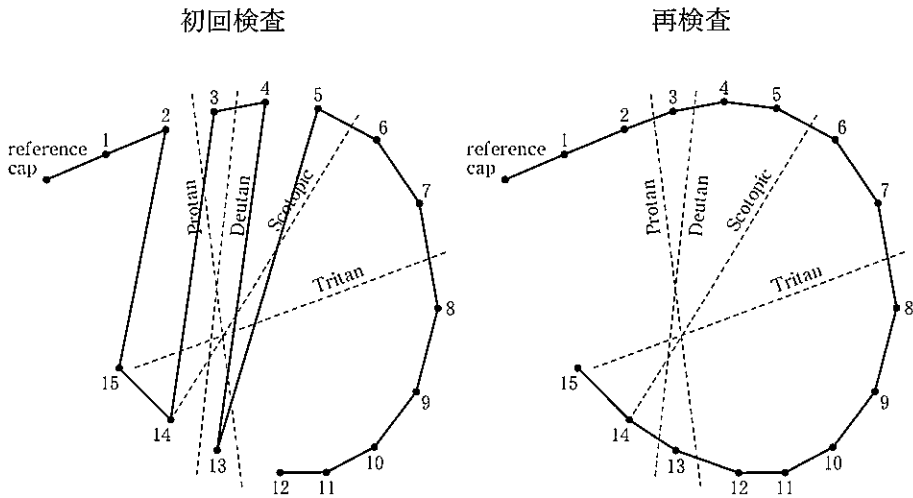
別 冊 No. 1 写 真

問題32 20歳の男性。資格試験取得のため色覚異常の程度判定を目的に来院した。

パネルD-15テストの初回検査と再検査の結果を図に示す。

判定はどれか。

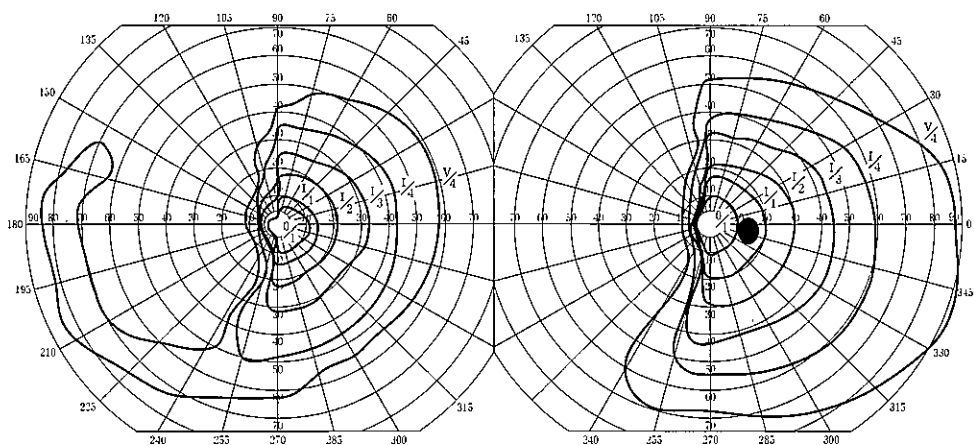
- a. 正常色覚
- b. パス(軽度)
- c. フェイル(強度)
- d. ボーダーライン
- e. 判定不能



問題33 65歳の男性。左眼の視野異常を訴えて来院した。視力は右1.2(矯正不能)、左1.2(矯正不能)。視野検査の結果を図に示す。

最も考えられる病変部位はどれか。

- a. 視交叉
- b. 視索
- c. 外側膝状体
- d. Meyer 係蹄
- e. 後頭葉視覚領



問題34 7歳の女兒。学校健診で視力障害を指摘され来院した。検査距離50cmで
検影法を行った結果、45°方向は+4.0Dの検影レンズで、135°方向はレンズなし
で中和した。

他覚的屈折度はどれか。

- a. $\text{cyl} + 4.00 \text{ D Ax } 45^\circ$
- b. $\text{cyl} + 4.00 \text{ D Ax } 135^\circ$
- c. $+ 2.00 \text{ D} \ominus \text{cyl} - 2.00 \text{ D Ax } 45^\circ$
- d. $+ 2.00 \text{ D} \ominus \text{cyl} - 4.00 \text{ D Ax } 135^\circ$
- e. $+ 2.00 \text{ D} \ominus \text{cyl} - 4.00 \text{ D Ax } 45^\circ$

問題35 3歳の女兒。左上方視での眼位異常に気づき来院した。第1眼位で -10°
の外斜視がある。9方向の眼位写真(別冊No. 2)を別に示す。

外斜視に合併している右眼の異常はどれか。

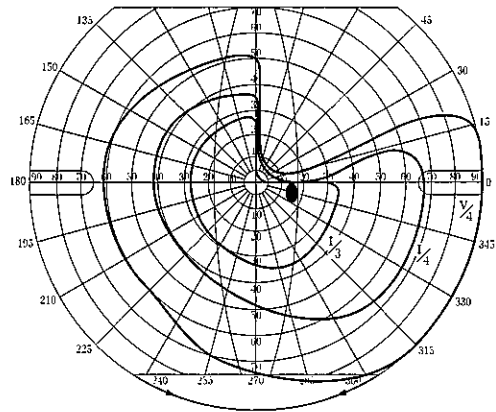
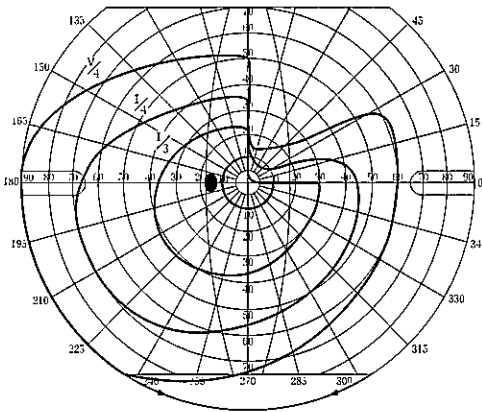
- a. Brown 症候群
- b. double elevator palsy
- c. Duane 症候群Ⅲ型
- d. Möbius 症候群
- e. Weber 症候群

別 冊 No. 2 写 真

問題36 65歳の男性。見にくさを訴えて来院した。視力は右0.6(1.2×+3.00D)、左1.0(1.2×+1.75D)。前眼部、中間透光体、眼底に異常はない。視野検査の結果を図に示す。

この患者の対光反射で正しいのはどれか。

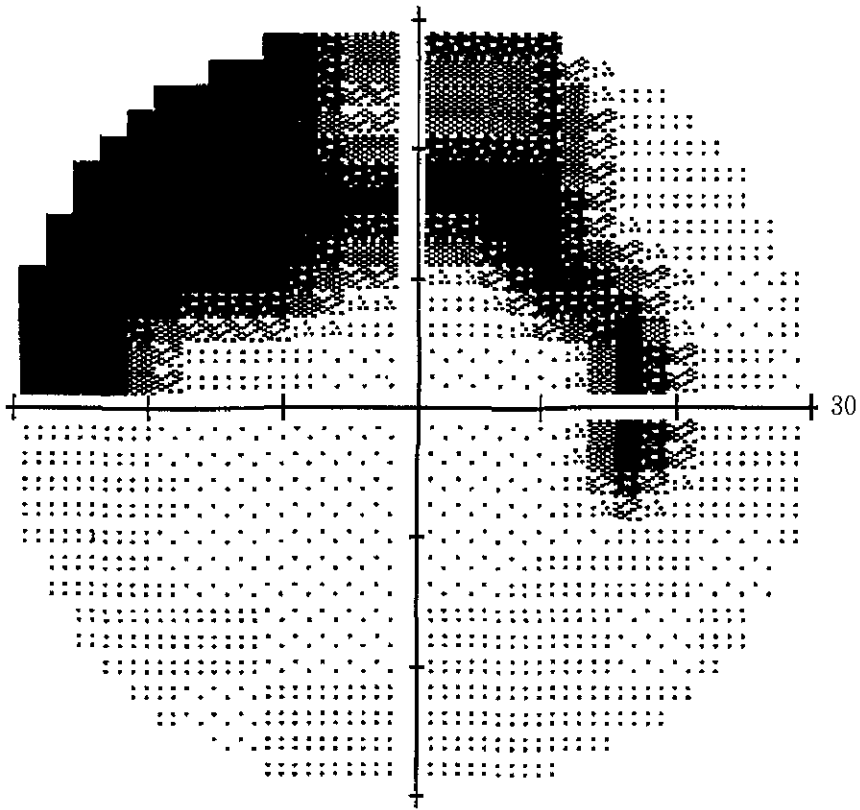
- a. 右眼の直接反射が障害される。
- b. 左眼の直接反射が障害される。
- c. 両眼の間接反射に異常はない。
- d. 右眼に relative afferent pupillary defect がみられる。
- e. 左眼に relative afferent pupillary defect がみられる。



問題37 60歳の男性。右眼の視野異常に気づき来院した。右眼の視野検査の結果を図に示す。

診断に有用な検査はどれか。2つ選べ。

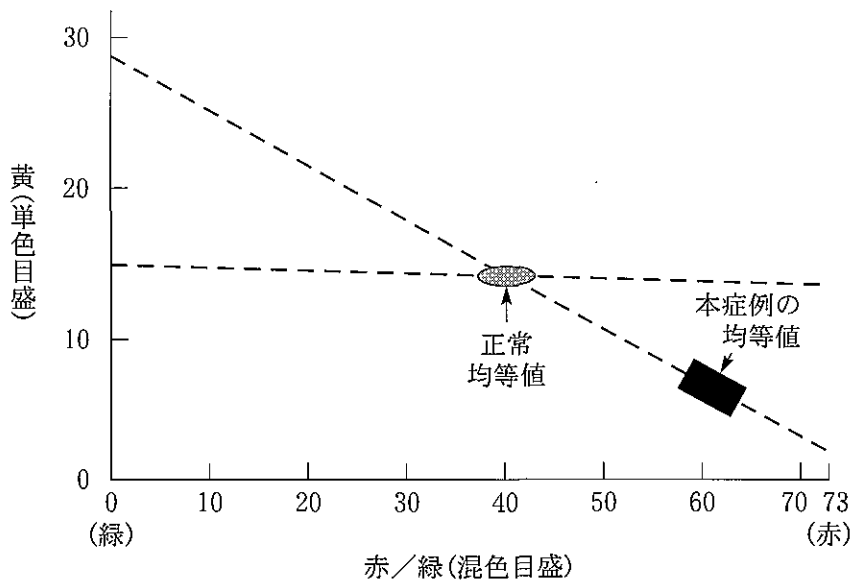
- a. 隅角検査
- b. 眼底検査
- c. 網膜電図
- d. 眼球電図
- e. 視覚誘発電位



問題38 20歳の男性。色覚異常の精査を目的に来院した。アノマロスコープの結果を図に示す。

診断はどれか。

- a. 第1色弱
- b. 第2色弱
- c. 第3色弱
- d. 全色弱
- e. 全色盲



問題39 47歳の男性。複視を訴えて来院した。右眼上斜視がある。上下偏位は右方視で大きく、頭部の左傾で増大する。

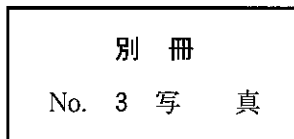
麻痺筋はどれか。

- a. 右眼下直筋
- b. 右眼上斜筋
- c. 左眼上直筋
- d. 左眼下直筋
- e. 左眼下斜筋

問題40 63歳の男性。複視と両側の眼瞼下垂とを主訴に来院した。5方向の眼位写真(別冊No. 3)を別に示す。

考えられないのはどれか。

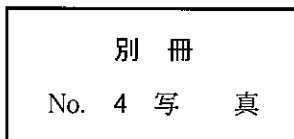
- a. 重症筋無力症
- b. 外眼筋ミオパチー
- c. 両側性 Horner 症候群
- d. 外眼筋麻痺と加齢眼瞼下垂との併発
- e. 両側動眼神経麻痺と左側外転神経麻痺との併発



問題41 72歳の女性。3日前から左眼の内側を中心に眼瞼が腫れて痛くなったため来院した。時々眼脂がみられ、涙がたまりやすかった。顔面写真(別冊No. 4)を別に示す。

診断はどれか。

- a. 麦粒腫
- b. 霰粒腫
- c. 涙腺炎
- d. 涙嚢炎
- e. 眼瞼皮膚炎



問題42 8歳の女兒。学校健診で視力低下を指摘され来院した。視力は右0.4(矯正不能)、左0.5(矯正不能)。対光反応は正常で、前眼部、中間透光体、眼底に異常を認めない。視力の再測定で、右($1.0 \times + 2.00 D - 2.00 D$)、左($1.0 \times + 2.00 D - 2.00 D$)を得た。視野検査の結果(別冊No. 5①~⑤)を別に示す。

この疾患で見られる視野異常はどれか。2つ選べ。

- a. ①
- b. ②
- c. ③
- d. ④
- e. ⑤

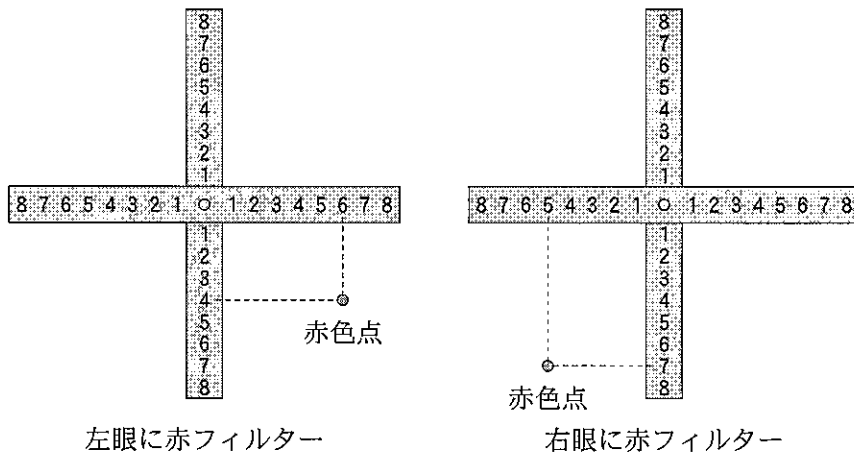
別冊

No. 5 図①~⑤

問題43 赤フィルターを片眼に置いて、正切尺を見たときの赤色光の位置を図に示す。

考えられるのはどれか。

- a. 滑車神経麻痺
- b. 交代性上斜位
- c. skew deviation
- d. double elevator palsy
- e. 動眼神経異常連合運動



問題44 30歳の女性。複視を主訴に来院した。Hess 赤緑試験の結果(別冊No. 6A)と眼窩MRI(別冊No. 6B)とを別に示す。矢印の外眼筋に左右差を認める。適切な手術法はどれか。

- a. 右上斜筋減弱術
- b. 左上斜筋減弱術
- c. 右下斜筋減弱術
- d. 左下斜筋減弱術
- e. 両下斜筋減弱術

別冊
No. 6 図A、写真B

問題45 68歳の男性。1週間前から複視を自覚するため来院した。左外転神経麻痺を認める。糖尿病治療中である。

複視に対する適切な治療はどれか。2つ選べ。

- a. 経過観察
- b. プリズム眼鏡処方
- c. 抑制除去訓練
- d. 副腎皮質ステロイド薬内服
- e. 斜視手術

問題46 60歳の男性。両側の眼瞼下垂を主訴に来院した。検査前後の顔面写真(別冊No. 7A、B)を別に示す。

正しいのはどれか。

- a. 加齢眼瞼下垂である。
- b. 眼瞼挙筋短縮術の適応である。
- c. 確定診断のためには筋生検が必要である。
- d. 眼瞼下垂は午前中より、午後の方が軽い。
- e. 検査に使った薬物は塩化エドロホニウムである。

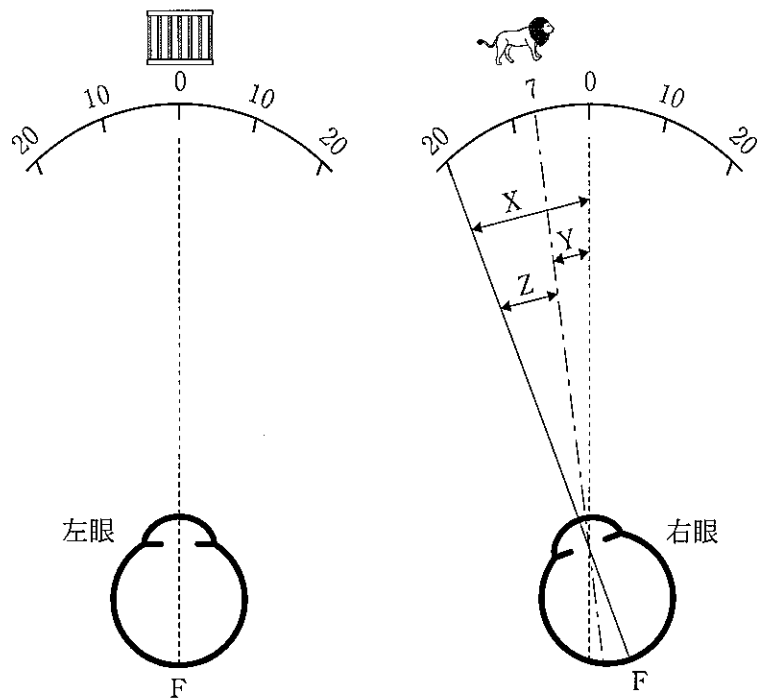
別 冊

No. 7 写真A、B

次の文を読み、問題 47、問題 48 の問いに答えよ。

8 歳の男児。眼位異常を主訴に来院した。大型弱視鏡検査を図に示す。

F = 中心窩



問題47 正しいのはどれか。2つ選べ。

- 右内斜視である。
- 調和性異常対応である。
- X は自覚的斜視角である。
- Y は他覚的斜視角である。
- Z は異常角である。

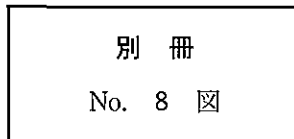
問題48 視能訓練で適切でないのはどれか。2つ選べ。

- a. 両眼黄斑部領域刺激法
- b. 動的両眼網膜刺激法
- c. 自己受容法
- d. 出し入れ法
- e. 交差法

問題49 6歳の男児。眼振と視力障害とを指摘されて来院した。両眼開放視力は0.3(矯正不能)である。右眼の電気眼振図(別冊No. 8)を別に示す。

教室内での望ましい座席位置はどれか。

- a. 前列中央
- b. 後列中央
- c. 黒板に向かって左側
- d. 黒板に向かって右側
- e. どこでも可



問題50 5歳の男児。右眼恒常性内斜視。視力は右1.2(矯正不能)、左1.2(矯正不能)。優位眼は左眼である。大型弱視鏡検査では右眼の黄斑部(3°)に抑制がある。

適切な視能訓練はどれか。

- a. 弱視訓練
- b. 融像訓練
- c. 立体視訓練
- d. 単眼固視訓練
- e. 網膜対応の異常矯正訓練